

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	踏切事故の解消による安全・安心の確保(防災・安全)											
計画の期間	平成30年度～令和4年度(5年間)											
交付対象	大阪府、富田林市、泉佐野市											
計画の目標	法指定された踏切について、課題の抜本的対策となる限度額立体交差(鉄道高架)により当該踏切を除去し、交差道路を合わせて整備することにより、歩行者、児童等の安全や通行の円滑を確保するとともに、鉄道による地域分断を解消し、地域の発展や活性化を図るものである。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	17,265	A	17,265	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標(定量的指標)				定量的指標の現況値及び目標値		
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値
	H29当初	H31末	H34末				
1	踏切除却することによる踏切事故確率の減少 踏切事故確率の減少 踏切数(2)の減少 = 踏切事故確率の減少(%) (喜志第2号踏切)	0%	0%	100%			
2	踏切における渋滞解消を図る 1日あたりの遮断時間の減少 1日あたりの踏切遮断時間 = 【当初:H26踏切実態調査データ(喜志第2号踏切)】	210分	210分	0分			
3	踏切拡幅することによる安全な歩道空間の整備率の向上 安全な歩道空間の整備率の向上(泉佐野8号踏切) 安全な歩道空間の整備率の向上(泉佐野8号踏切)	0%	100%	100%			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
踏切事故の解消による安全・安心の確保(防災・安全)(その2) 計画の期間:H29～H34(6年間) 計画の期間が6年間のため、整備計画を2つに分けて登録												

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況
		一體的に実施することにより期待される効果											H30	H31	R02	R03	R04		
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	大阪府	直接	大阪府	都道府県道	改築	(主)美原太子線	踏切除却(交通連携) L=1.0km	富田林市						7,000	1.1	-
		P32より。																	
	A01-002	道路	一般	富田林市	直接	富田林市	市町村道	改築	(他)桜井1号線	踏切除去	富田林市						1,000		-
	A01-003	道路	一般	泉佐野市	直接	泉佐野市	市町村道	改築	(他)羽倉崎新安松線	踏切拡幅 W=10.55m	泉佐野市						265		-
	A01-004	街路	一般	大阪府	直接	大阪府	S街路	改築	3・4・221-3大県本郷線	バイパス L=0.6km	柏原市						9,000		-
		P32より。																	
																小計		17,265	
																合計		17,265	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大阪府道路室で評価を実施	令和4年4月
事業効果の発現状況	
定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況	踏切事故の減少等に向け、事業実施中
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
令和3年度より踏切道改良補助に移行した。 引き続き同事業の着実な進捗を図る。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	100%	令和3年度より踏切道改良補助に移行
	最終実績値	0%	
2	最終目標値	0分	令和3年度より踏切道改良補助に移行
	最終実績値	210分	
3	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	